

編集方針

統合報告書2026の発行にあたって

統合報告書2026では、「変化を力に」をテーマに掲げています。

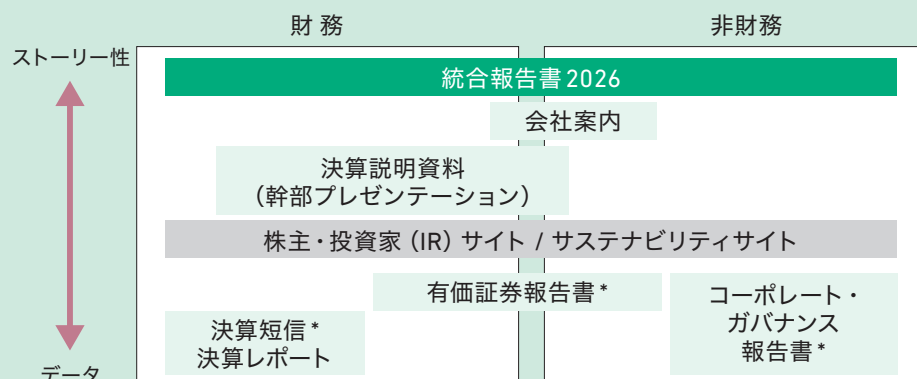
当社は、事業環境や社会の変化に向き合いながら、挑戦と試行錯誤を重ね、自己変革を通じて進化してきました。本報告書は、こうした変化の中で、当社がどのような取り組みを通じて成長を実現してきたのかを、わかりやすくお伝えすることを目指しています。

本報告書では、CEOをはじめとする各マネジメントからのメッセージや特集コンテンツを通じて、これまでの事業活動の中で直面してきたさまざまな変化と、それらをどのように乗り越え、成長の原動力としてきたかについて、過去の事例も交えながら整理・紹介しています。短期的な成果にとどまらず、中長期的な視点での価値創造に向けた考え方や取り組みの積み重ねを示すことで、変化の時代においても自らを変革し、進化し続ける当社の姿をステークホルダーの皆様にご理解いただきたいと考えています。

統合報告書の位置づけ

当社の統合報告書は、経営方針や経営戦略、業績の推移といった財務情報に加え、中長期的な成長を支える非財務情報としてのサステナビリティに関する取り組みを一体的に示した報告書です。当社の現在および将来に向けた価値創造ストーリーを示すことで、株主・投資家の皆様をはじめとする幅広いステークホルダーにご理解いただき、対話の基盤となることを目指しています。

また、より読みやすさを重視したオンライン版をJTウェブサイトに掲載しておりますので、併せてご覧ください。



*金融商品取引法等で制度的に開示が定められている書類

表紙について

統合報告書2026の表紙デザインは、制作テーマである「変化を力に」を踏まえ、変化を成長の原動力とし、自らを変革しながら成長を続ける当社の姿が直感的に伝わるビジュアルとしています。

過去から現在、そして未来へと連なる当社の進化のストーリーを象徴的に表現することで、本報告書のメッセージを視覚的にも伝えることを意図しています。



編集方針

報告期間:	2025年度(2025年1月1日～2025年12月31日) (注)当該年度以外の内容も一部掲載しています。	参照ガイドライン: IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」を参考にしています。また、ESG情報については、GRI (Global Reporting Initiative) の「サステナビリティ・レポートング・スタンダード」を参考にしています。
報告対象範囲:	日本たばこ産業株式会社およびその関連会社とバリューチェーン	
発行時期:	2026年6月	

将来に関する記述等についてのご注意

本報告書には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでいます。係る将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来そのとおりに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、係る将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。そのうち、現時点で想定される主なものとして、右記のような事項を挙げることができます(なお、係るリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化および需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動および原材料費の変動
- (10) 自然災害および不測の事態等